第5期の設定の仕方（例1）

第１～４期のリーフレットを参考にして

【継続型】

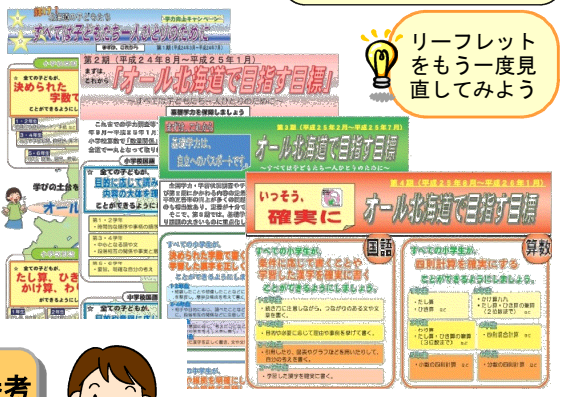
ステップ①

チャレンジテストの結果等を踏まえて、**第１～４期の定着状況**を確認します。

チャレンジテストの結果を北海道学力向上Webシステムを活用して分析することにより、これまでの定着状況が分かります。

ステップ②

定着が十分でない内容を、これまでのリーフレットから選びます。



リーフレットをもう一度見直してみよう

ステップ③

選んだ内容について、**全教職員の共通理解**を図ります。

ステップ④

第１～４期の**リーフレットを参考**にして、「私の学校の第５期」（１ページ）を作成します。

リーフレットをそのまま活用することもできますが、学年の定着状況に合わせて「必ず定着させる指導事項等」を焦点化することも大切です。

第5期の設定の仕方（例2）

「分析ツール」を参考にして

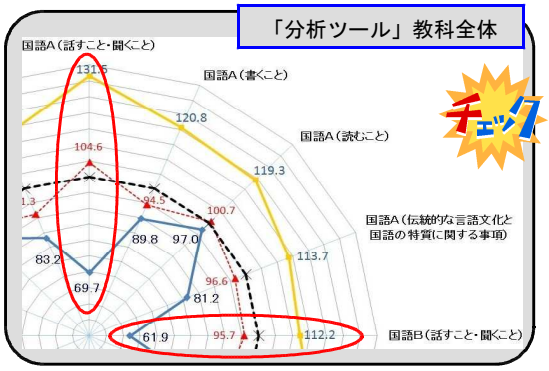
【発展型】

ステップ①

全国学力・学習状況調査の結果を**「分析ツール」を活用**して分析し、重点とする領域を確認し設定します。

学校によっては、第１～４期で重点としていなかった領域や学習内容に課題が見られることも考えられます。

「分析ツール」教科全体



ステップ②

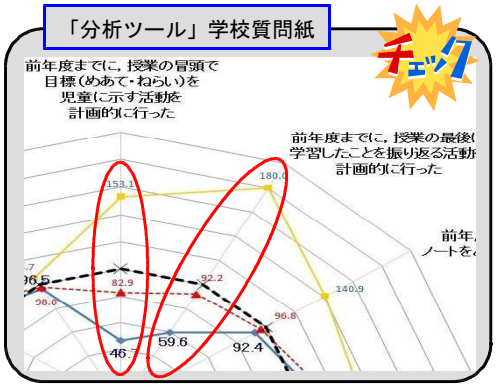
ＣＲＴや学校独自のテストの結果を参考にして、他学年の状況も確認すると同時に、その領域で特にどのような学習内容に課題が見られるのかを分析し「重点とする学習内容」を設定します。

ステップ③

学年間の系統性を確認しながら、各学年で「必ず身に付けさせる指導事項等」を設定します。

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容を中心に設定することが大切です。

「分析ツール」学校質問紙



ステップ④

「分析ツール」を活用するなどしてこれまでの学校の取組を振り返り、学校全体で取り組む必要があること（「全校での取組」）を確認し設定します。